

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院内分泌・代謝・糖尿病内科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：成長ホルモン産生下垂体腫瘍における GIP 受容体の発現解析

1. 研究の概要

先端巨大症は成長ホルモン産生下垂体腫瘍によって発症します。成長ホルモン産生下垂体腫瘍の20-40%では GIP 受容体 (GIPR: glucose-dependent insulinotropic polypeptide receptor) を発現し、GIP 受容体発現の有無で薬物治療に対する感受性 (= 治療の効きやすさ) が異なることが報告されています。

以上から、当院における先端巨大症患者の成長ホルモン産生下垂体腫瘍の GIP 受容体発現について解析するために、本研究を計画しました。

● 本学の実施体制

【研究責任者】

宮崎大学医学部内科学講座血液・糖尿病・内分泌内科学分野 山口 秀樹

2. 目的

本研究の目的は、成長ホルモン産生腫瘍における GIP 受容体の発現の有無を解析することです。

3. 研究実施予定期間

この研究は、以下の期間において実施されます。

研究機関の長による実施許可日から 2027 年 6 月 30 日まで

4. 対象者

2015 年 1 月 1 日～研究機関の長の許可前日までに宮崎大学医学部附属病院内分泌・代謝・糖尿病内科に通院または入院歴のある先端巨大症の患者さんで、病理標本が提出された時点で 20 歳以上、病理学的に成長ホルモン産生下垂体腫瘍と診断され、臨床的に先端巨大症と診断された患者さんが対象となります。

5. 方法

対象となる方のカルテ情報から、①患者基本情報：年齢、性別、診断名、治療内容、治療寛解率、②血液検査：肝機能、腎機能、糖代謝、脂質代謝、尿酸、末梢血分画、内分泌学的検査、③尿検査：尿定性、尿沈渣、尿中電解質、尿中ホルモン値、④画像検査：放射線画像、コンピュータ断層画像、MRI 検査画像、⑤病理検査：病理診断、病理画像 (HE 染色、免疫組織化学) と、病理検査時に作成されたホルマリン固定パラフィン包埋標本について①免疫組織化学：GH、GIP 受容体、SSTR 等を解析させていただき、これらの情報をもとに GIP 受容体の発現頻度や GIP 受容体の発現と様々な臨床情報との関連について解析を行います。

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に特定できないように、数字や記号などに置き換えて使用いたします。

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、個人情報保護や研究の独創性確保（あるいは、特許に関わる事象）に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、研究責任者が所属する診療科の研究費で賄われますの資金で実施します。

本研究は、企業および団体等と経済的な関与がないため、申告すべき利益相反はありません。

注1）臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益（謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない（自分のデータを使ってほしくない）方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願いいたします。

宮崎大学医学部附属病院内分泌・代謝・糖尿病内科

氏名 山口 秀樹

電話：0985-85-9121